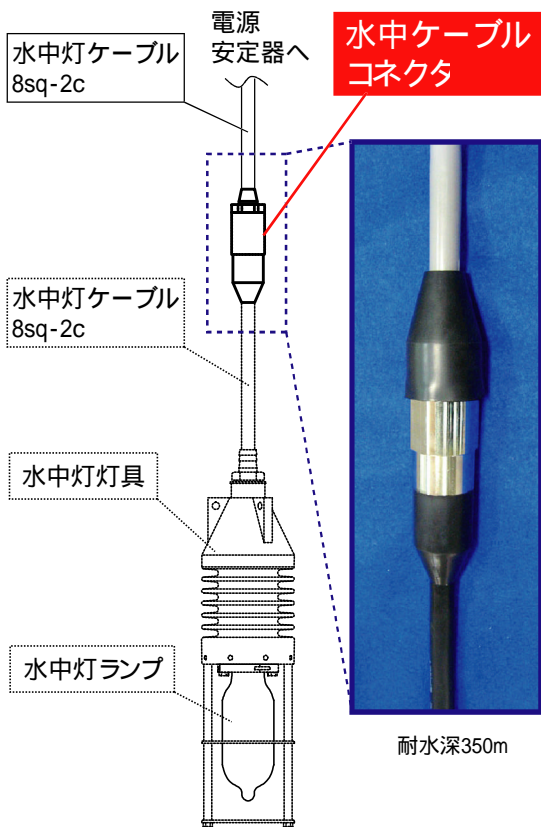




水中灯用ケーブルコネクタ

簡単脱着
水走り防止



● ケーブル - 灯具間の脱着が容易に可能

灯具の脱着やケーブルの交換が簡単！
 入港時等に一時的に灯具を外しておきたい場合に便利。
 モンキーレンチ又はスパナで簡単に脱着。
 コネクタ部には防水テープやビニールテープを巻く必要なし
 コネクタ接続状態で耐水深350mを実現。

● コネクタによりケーブル内部から灯具内部への海水の浸入を防止

◎ケーブルコネクタ間(オス・メス間)にも防水加工を施すことで、電源側ケーブルにキズが入りケーブル全体へ浸水が広がる状態(水走り現象)でも、灯具内部への浸水を防止可能。→使用例①

水中灯の短絡や漏電防止

- 灯具内部の浸水時に発生する2極間の短絡や漏電を防止。
- コネクタ内部でそれぞれの電極に対して防水加工を施すことで、1極電線内に浸水してもコネクタ内部から反対の極への通電を防止可能。

水中灯電球の寿命向上

- 灯具内部浸水による電球破損や電球口金腐食による不具合が減少。

ケーブルの寿命向上

- コネクタ内部で2極間を防水加工することで、水走りが発生しても多少のキズであればキズ部分をテープ等で補修することで継続使用が可能。
- ケーブルのキズがケーブルシースのみで絶縁体に達していない場合は、不都合無く継続使用が可能。

※ケーブルのキズが深い場合は漏電、短絡が発生しケーブル交換が必要です

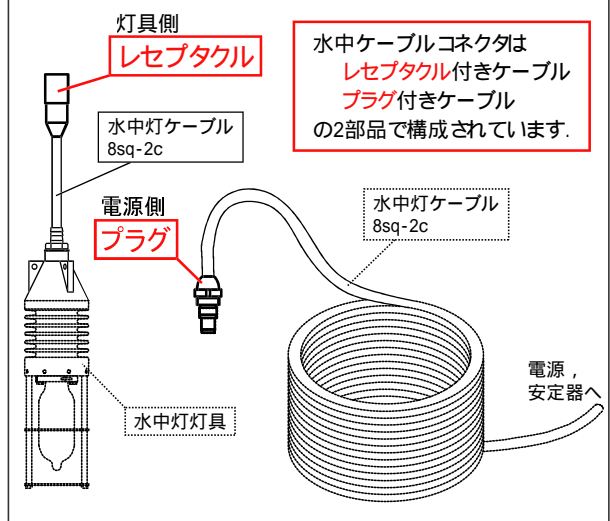
導入方法

1. 初回導入時に、工場にてレセブタクル取付加工済みの水中灯ケーブル(70cm)と水中灯灯具の結線を行います。
2. 工場にてプラグ取付加工済みの水中灯ケーブルを用意し、レセブタクルとプラグを接続します。
3. 接続時は、レセブタクルとプラグにそれぞれあるキー溝(ガイド溝)を合わせてからはめ合わせ、奥までしっかりと差し込みます。キー溝が合っていないか、差し込みが浅い場合は、正常な接続が行えずにコネクタの破損や水漏れの原因となります。
4. モンキーレンチ又はスパナで、プラグのグラントを回し、レセブタクルとプラグのグラント間が1mm以下になるまで締め込んで接続完了です。締め込みが浅い場合は、水漏れの原因となります。
5. 締め込んだコネクタには、防水テープやビニールテープを巻く必要はなく、そのままお使い頂けます。
6. 既存の水中灯ケーブルに現場でプラグおよびレセブタクルを加工・取付けすることはできません。そのため、発注時には「水中コネクタ付ケーブル」と御指定の上で御注文頂きますようお願い致します。

システム構成

レセブタクル付き水中灯ケーブル 灯具側(70cm)
 プラグ付き水中灯ケーブル 電源側(最大350m)
 水中灯灯具 + 水中灯ランプ

※電源側水中灯ケーブルは必要に応じて長さを変更することが可能です(最大350m)。
 ※ケーブルコネクタには、水中灯灯具およびランプは含まれていません。



製品の詳細および御不明の点については、お気軽にお問い合わせください



株式会社 拓洋理研 TAKUYO CO.,LTD.

<http://www.takuyo-riken.co.jp>
info@takuyo-riken.co.jp

本社

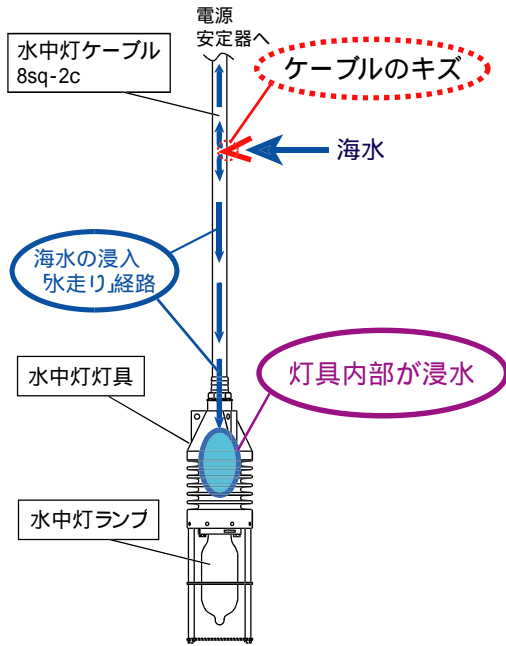
〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-6-17
 TEL (092) 713-6520 FAX (092) 712-2676

横浜支店

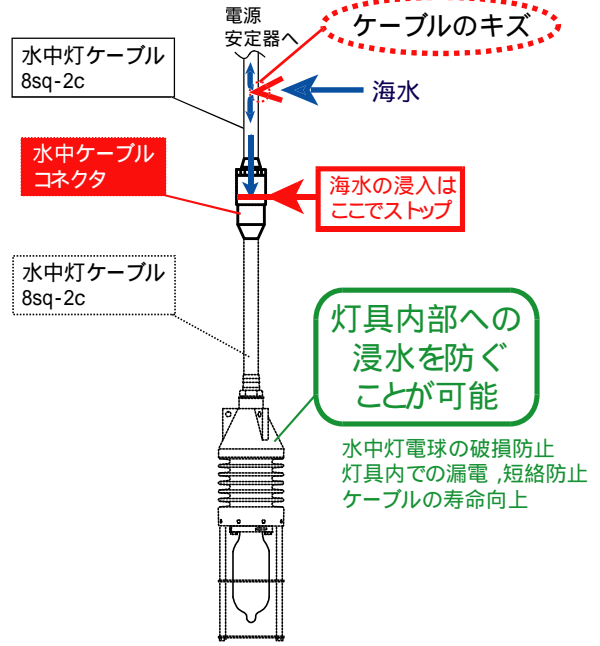
〒231-0007 神奈川県横浜市中区弁天通1-15-1 アコルデ横濱関内301号
 TEL (045)226-2801 FAX (045)663-8948

使用例 — 電源側ケーブルにキズが入り水走りした場合

従来の水中灯システム

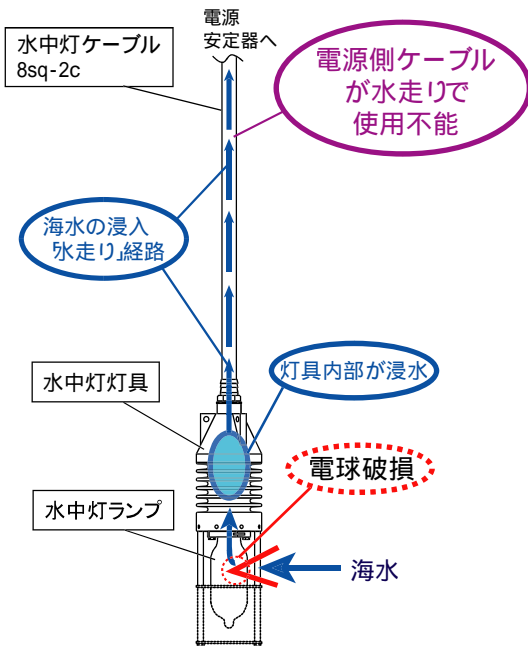


水中ケーブルコネクタを使用した場合

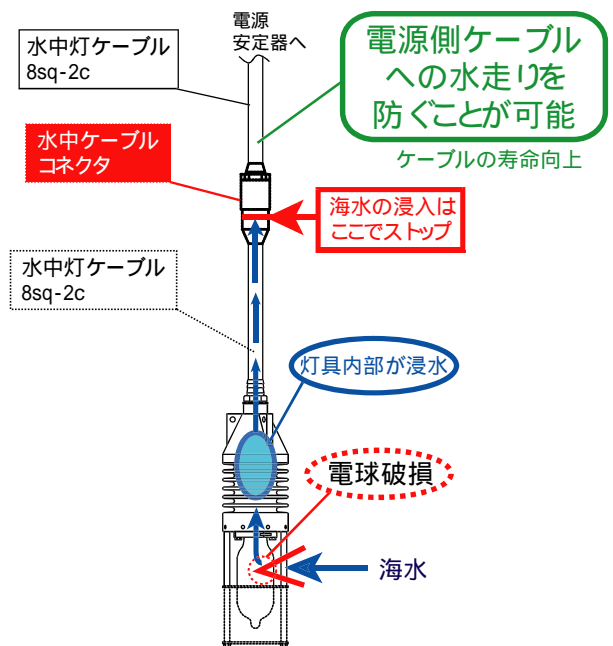


使用例 — 水中灯電球が破損し、灯具側から水走りした場合

従来の水中灯システム



水中ケーブルコネクタを使用した場合



注意事項

- 「レセプタクルー灯具間」の水中灯ケーブルにキズが入り「水走り」が発生した場合には、灯具内部への水の浸入を防ぐことはできません。
- プラグのグランドが緩んでいると防水効果が発生しません。コネクタ交換時にはグランドをスパナ等でしっかりと締めて下さい。
- 本製品は、ケーブルにキズが入った際に電線内部への浸水を止める商品ではありません。従って、キズ発生時の電線自体からの漏電や短絡および浸水による電線の腐食はキズの症状次第で発生します。その際には修復や交換が必要です。
- プラグのグランド上部に被せる保護カバーが外れる場合がありますが、防水性能に影響はありません。
- 水中において水中灯の電球が破損することで電球側から灯具内部へ浸水する場合は、「水中灯灯具—レセプタクル間」の水中灯ケーブル内への「水走り」を防止することはできません。但し、この場合も、レセプタクルとプラグの接合部分での防水は保たれているため、プラグから先の電源側水中灯ケーブルへの「水走り」は防ぐ事ができます。→使用例②参照
- コネクタ部を巻揚機等のローラーに巻き込まないでください。
- 既存の水中灯ケーブルに現場でプラグおよびレセプタクルを加工・取付けすることはできません。そのため、発注時には「水中コネクタ付ケーブル」と御指定の上で御注文頂けますようお願い致します。

製品の詳細および御不明の点については、お気軽にお問い合わせください



株式会社 拓洋理研 TAKUYO CO.,LTD.

<http://www.takuyo-riken.co.jp>
info@takuyo-riken.co.jp

本社

〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-6-17
 TEL (092) 713-6520 FAX (092) 712-2676

横浜支店

〒231-0007 神奈川県横浜市中区弁天通1-15-1 アコルデ横濱関内301号
 TEL (045)226-2801 FAX (045)663-8948